

現代ビジネス学科

Department of Business Economics

企業経営に積極的に貢献できる人材へ

現代ビジネス学科では、経済学部のなかでも、企業をより深く理解するための科目群が設けられ、経済学とビジネスのリンクがいちばんの醍醐味。経済学だけでなく、企業経営についての科目が充実しています。国際経済、労働経済、環境経済といった経済学を学びながら、経営や会計、ファイナンスなどベクトルを広げ、ビジネスのプロを目指します。異なる学問領域で得た知識が自分の中で結びついたとき、学ぶことの楽しさを実感できるはず。現代ビジネス学科が目指すキャリアは3分野。1つ目は「ビジネスプロフェッショナル」。起業家・経営管理者として求められる知識を習得します。2つ目は「リサーチ・コンサルタント」。企業経営に専門的なアドバイスができる企業産業分析を学びます。そして3つ目は「専門資格取得者」。会計プロフェッショナルなど高度専門職を目指し、企業会計、税制を学ぶためのカリキュラムが構成されています。



ワタシの目標と選択

現代ビジネス学科 3年 宮下 紗季さん

■ 経済学部を志したきっかけは？

父が経済系の学部で学んでいたことから、自分も経済学部か、もしくは法学を学びたいと考えていました。経済学部を最終的に選んだのは、経済は自分の学び方一つで将来役立つスキルとなると考えたからです。現代ビジネス学科での学びを通して、毎日ふれる様々なニュースがより身近に、いま目の前にある問題がより鮮明に見えるようになりました。なかでも「金融論」はお金の流れを知るために有効な学びで、たとえば「保険に入るべきか、入らない方がいいか」を計算で明らかにするなど、興味深いトピックスが数多くあります。日本の多くの大学に経済学部はありますが、美しい四季の移ろいのなかで、真剣に経済学を学びたいと考えている人には、法政大学経済学部は絶対にお勧めです。先生方も親身に丁寧に学生を指導してくださいます。

■ キャンパス生活でも、もっとも力を注いでいることは？

ゼミでは、入学時に選択で悩んだ「法学」をとることができました。時事問題をタイムリーに取り上げたり、刑法では実際の裁判を傍聴、刑務所を訪ねたり、とても深い学びを経験しています。またフットサル部のマネージャーと、塾の講師・店舗販売のアルバイトもしています。忙しい毎日ですが充実しています。通学には1時間半かかります。でも実はこの時間がとても貴重で、課題があるときは、それをクリアするのに大切な時間となります。

■ 将来の夢はなんですか？

法政大学経済学部の幅広いフィールドは、自分の好奇心をたよりに思い通りに、自由に学ぶことができます。そこで私が辿り着いたのは、経済と金融と法律でした。それらは密接に繋がりがながら、融通の利く万能な利器のように、未来の選択肢を大きく広げてくれます。将来、私は経済学と法学をしっかりと学んだ上で、それが役立つ職種を選びたいと考えています。具体的には銀行系か公務員で、首都圏での就職を希望しています。

CURRICULUM 現代ビジネス学科カリキュラム

4年間の流れ		1年次	2年次	3年次	4年次	
教養科目	基礎教育科目	入門ゼミ				
	外国語科目	第一外国語	英語			
		第二外国語	ドイツ語、フランス語、中国語のうち一つ			
	保健体育科目	選択科目		自由選択		
		スポーツ総合	スポーツ総合			
	スポーツ種目		自由選択			
	総合教育科目	人文分野・社会分野・自然分野・総合分野・国際コミュニケーション分野から科目を選択				
	必修科目	企業と経済・基礎				
	選択必修科目	簿記Ⅰ、コンピューター入門、企業経営入門、ビジネス数学入門	経済データ分析、企業と経済・応用、簿記Ⅱ、会計学入門、原価計算、日本経済論、現代ファイナンス入門、Business Communication I	企業金融論、財務諸表論、管理会計、Business Communication II		
専門科目	選択科目	社会経済学基礎、経済史、統計学	演習(2年次) 金融論、財政学、産業集積論、経済地理、商法一部、ビジネスプログラミング入門、コーポレートガバナンス論、国際ビジネス論、企業実務研究、Business Research Seminar、スタディ・アブロード	演習(3年次)、演習(4年次) リスク・マネジメント、企業経営史、企業経営論、監査論、国際会計制度、金融ビジネス論、比較経済システム論、産業組織論、労働経済論、情報経済論、企業経済論、商法二部、経済法、経営学、特別講義 I		
	自由科目	他学科の科目、他学部の科目など (例) 日本国憲法、民法一部/二部、労働法 ※科目ごとに配当年次が異なります。				

※カリキュラム表および科目名は、変更になる場合があります。

各授業についての詳細はこちら <http://syllabus.hosei.ac.jp>

PICK UP LECTURE [現代ビジネス学科] 講義紹介

『財務諸表論』

担当教員/竹口 圭輔 教授

財務諸表論は会計学の一つで、決算書などの数字データや企業評価、戦略分析などの各種アプローチを通じて、企業を分析・考察する学問です。通常は経営学部や商学部にある学問で「数字の作り方」を学びますが、経済学部で教えているので「数字を読む力」を養うことに重点をおいています。社会に出る学生の多くは営業職に就きます。そこでは、数字を作る業務ではなく、数字を解釈し、提案につなげる力が求められます。経営学が会社の中から会社をどう動かすかを考えるのに対し、経済学は会社の外から社会や世界を理解し、自社の強みを発見していきます。それが経済学部の中で会計を教える意義だと考えています。学生には実体験を大切に、自分で調べ、発見するプロセスを多くこなすよう望みます。好奇心と行動力を大切に、社会へ出て、より豊かな社会を作れる人材を育てていきます。

PROFILE / KEISUKE TAKEGUCHI

専攻: 会計学(財務会計・国際会計)

研究テーマはストック・オプションを中心とする株式報酬の会計。ゼミのテーマは企業行動分析。

